

放課後子ども教室推進事業

自治体名

岩手県滝沢市

震災後の地域の状況・仮設住宅数

当市は内陸中央部に位置しており、津波浸水等の被害はなかったが、沿岸部で市民2名が犠牲になるとともに、道路被害が15件、建物被害が1208件あった。避難所は14か所で開設され、一時712名が避難した。(仮設住宅数:0)

<取組名> ～運営組織と地域の特色を生かした居場所づくり活動～

取組概要

実施形態 (該当に○)	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
		○		
実施主体・ 場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
	1	8	118	滝沢市多目的研修センター

活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
					()
学校と地域の 協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
					()
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
	○	○	○		()
家庭教育・ 保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
					()
地域課題に応じた 学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					()

【滝沢市放課後子ども教室「たきざわっ子いきいきクラブ」の活動概要】

- 1 目的 平日の放課後に、体育協会の指導員や地域のボランティア等により、安全・安心な居場所を提供することを目的とし、放課後子ども教室を開設している。
- 2 対象児童 地区の小学校児童
- 3 開設日時 月曜日～金曜日(週5日) 自由活動(午後3時～6時) スポーツ活動(午後4時～5時)
- 4 開設場所 滝沢市多目的研修センター 研修室 運動室 等
- 5 活動内容
 - (1) 自由活動 宿題、読書、折り紙、輪投げ、お絵かき、トランプ、かるた、けん玉、工作 等
 - (2) スポーツ活動 卓球、サッカー、バドミントン、テニス、ユニホック、ドッジボール、ドッチビー、ボール遊び、ソフトバレー、竹馬、縄跳び、フラフープ、バスケットボール、ソフトテニス、野球、一輪車
 - (3) 体験活動 英語教室、スライム作り、映画鑑賞会、流しそうめん会、おやつ作り

(写真)



(写真)



取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

- ・ 市民2名が沿岸地区で犠牲になったことに加え、現在でも沿岸部で生活している家族や親戚の被災等に関連して、様々な影響が見られる。
- ・ 震災時の様々な体験や支援活動等を通じて、従前から課題となっていた地域コミュニティの在り方について、本市においても改めて重要視されている。
- ・ 放課後の安全・安心な子どもの居場所づくり等、地域ぐるみで子どもたちを支えていく体制を整えていく必要がある。

◇住民等からの要望・必要な取組

- ・ 放課後や週末等の子どもたちの安全・安心な居場所が求められている。
- ・ 子どもたちの健全育成と地域コミュニティの構築を図るため、各種体験活動や地域住民の世代間交流を充実させる必要がある。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- ・ 事業のコーディネート及び教室運営は、公益財団法人滝沢市体育協会が行っている。
- ・ コーディネーター1名、安全管理員10名のスタッフで運営している。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

- ・ 行事により講師を地域ボランティアに依頼し、多様な活動を提供するとともに、学びを通じた世代間交流の促進を図っている。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

- ・ 地域ボランティア講師の特技を生かし、多様な活動を展開することができた。
(英語教室、スライム作り、工作教室 等)
- ・ 体育協会職員の指導により、各種スポーツ活動を積極的に取り入れることができた。
(バスケットボール、ラダートレーニング、ドッジボール、バドミントン、卓球、鬼ごっこ 等)
- ・ 体育協会職員や地域ボランティアのサポートにより、地域の子どもたちに安全・安心な放課後の居場所を提供することができた。

◇復興に資する内容としての数値的達成の成果

- ・ 平成 26 年度の滝沢市放課後子ども教室「たきざわっ子いきいきクラブ」では、週 5 日、年間 118 日開設し、1 日平均 17.7 名、年間のべ 2093 名の子どもたちに安全・安心な放課後の居場所を提供することができた。

◇課題や今後の展望

- ・ コーディネーターや安全管理員の安定的な人材確保が困難である。
- ・ 異年齢の子どもたちが、全員でより楽しく交流できる事業を工夫していきたい。